

平成 27 年 8 月 6 日
国土交通省中部地方整備局
三河港湾事務所

『なでしこパトロール』を実施しました ～「女性の視点」から衣浦港では初のパトロール～

7月31日（金）三河港湾事務所と当所発注の工事受注者（2社）合同による「なでしこパトロール」を実施しました。

三河港湾事務所は、現在、地震・津波対策としての防波堤改良や航路を拡幅する浚渫工事を進めています。

港湾工事の現場は3K（危険、汚い、きつい）の職場環境と言われています。

この現状を少しでも改善することを目的に、安全や環境対策の状況について、『女性の視点』から点検するパトロールを衣浦港の国の工事では「初めて」実施しました。



女性職員によるパトロール状況

＜パトロール対象現場、参加者＞

- ・平成27年度衣浦港外港地区防波堤（改良）築造工事（受注者：徳倉建設（株））
- ・平成27年度衣浦港外港地区航路（－12m）浚渫工事（受注者：東海建設（株））
- ・発注者及び工事受注者参加者：女性職員7名（全体20名）

■ パトロール内容：別紙

● 配布先

中部地方整備局記者クラブ、専門紙記者会、半田記者クラブ、碧南記者クラブ、港湾新聞、港湾空港タイムス、日本海事新聞、海事プレス

● 問合せ先

国土交通省 中部地方整備局 三河港湾事務所 衣浦港事務所
航路管理課 課長 伊藤（いとう）

Tel 0569-21-2311
Fax 0569-21-2312

別紙

■ パトロール内容

今回のパトロールは「なでしこパトロール」として、女性の視点による各社の安全対策や現場環境等の点検を行ったものです。

パトロールに先立ち発注者を代表し、三河港湾事務所長鈴木より『安全や環境改善の対策状況を皆さんの視点から点検して頂き、今後の対策に活かして参りたい。』との挨拶がありました。

防波堤工事現場と浚渫工事現場の2班に分かれてパトロールを実施したところ、休憩所テーブルの埃など男性とは違った細やかな視点から、普段では見過ごされてしまいそうな工事現場の危険箇所や職場環境に関する改善意見が出され、さっそく是正を行いました。

当事務所としては、今回のパトロール成果も活かし、引き続き更なる工事現場の安全・環境改善対策強化に取り組んで参ります。

「なでしこパトロール」点検状況



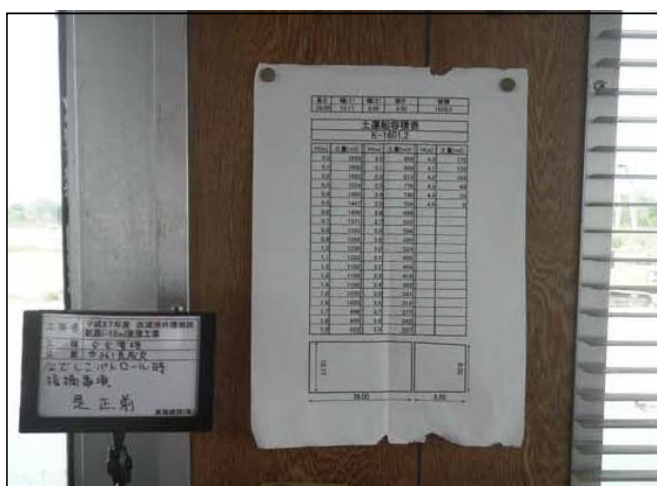
防波堤上の公衆災害防止(侵入対策)状況を点検



ブロック製作ヤード内の作業員休憩所内を点検

主な改善意見と現場の是正状況

- 浚渫船内の掲示物が破れ、風で飛ばされそうになっていた。ラミネート等を施して掲示を行うべき



【是正前: 浚渫船内の掲示物】



【是正後: 掲示物をラミネートにて措置】

その他意見

- ・ブロックヤード内への立ち入り禁止を音声で標識する「トークナビ」の設置位置を、出入り口付近に設置すべき。
- ・職長への熱中症警告ブザー配布や交通船内への熱中症応急キットの常備など、熱中症対策がしっかりされていた。炎天下の作業が続くので、熱中症対策を徹底すべき。

※写真データ等の提供を希望される方は●問い合わせ先までご連絡ください。